



円山動物園「とわ」

### ヒグマの行動習性

昼夜を問わず行動しますが、基本的には明け方・夕暮れ時に活発に行動すると言われています。非常に慎重なので、人を避けるため夜間に行動することもありますが、行動範囲は、雄数百平方km、雌数十平方kmで、雌のほうが一定の地域に落ち着いている傾向があります。

われています。しかし、近年はそういった認識も薄れています。 「ヒグマ」と「人間」 単純にヒグマと人間のすみ分けをすると、市街地は人間の生活領域となり、野山はヒグマの生活領域となります。 ヒグマの生活領域に立ち入る際は、人間が注意する必要があります（下記参照）。

#### 〈問い合わせ先〉

目撃・痕跡情報や住民への注意喚起に関すること  
中央区総務企画課 地域安全担当係 ☎231-2400  
HP <http://www.city.sapporo.jp/chuo/kuma/index.html>  
市の対策などに関すること  
環境局みどりの推進課 熊対策調整担当係 ☎211-2522

## 気を付けよう!!

#### ヒグマを市街地に呼ばない

ヒグマは、一度においや味を覚えると、その食べ物を求めて市街地に来ることもあります。

- ・山へ入ったときには、食べ物のごみを捨てたり埋めたりせず、必ず持ち帰りましょう。
- ・生ごみを野外に放置したり、夜間にごみステーションへごみを出したりしないようにしましょう。
- ・外に漬物を漬けたたるを置いたり、魚を干したりすることなどは控えましょう。

#### ヒグマに遭わない

登山や山菜採りなどで入山する場合、特に注意が必要です。

- ・ヒグマ出没により立入禁止とされた区域には絶対に入らないください。
- ・ヒグマに関する注意喚起看板などを確認するとともに、単独での入山を避け、声や鈴などで音を出し、周囲に十分注意しながら入山してください。
- ・ヒグマの足跡やフンらしきものなどを見つけたら、周囲に潜んでいる可能性があるため、引き返しましょう。

#### ヒグマに遭ってしまったら

ヒグマと人間が周囲に注意を払っていても、鉢合わせすることがあります。

- ・大声を出したり、走って逃げたり、石を投げたりすることは、絶対にしてはいけません。
- ・背中を向けて走ってはいけません。ヒグマは本能的に追いかけてきます。
- ・子グマを見たら、近くに母グマがいる可能性が高いので、その場から立ち去りましょう。
- ・多くの場合は、ヒグマが先に立ち去ります。ヒグマの移動する方向を見定めながら、静かに立ち去りましょう。



### 「ヒグマ」は身近にいる

北海道には、ヒグマが生息しており、札幌市の周辺の野山であっても例外ではないということをお知らせするために認識していただくことが大事です。 また、不慮の事故を避けるため、ヒグマの生活領域を侵さないように人間が意識することも大切です。

しかしながら、人間の生活を脅かすヒグマが現れた場合は、厳しい対応をしなければならぬこともあります。 **意外と身近な存在であるヒグマ**について、正しい知識を身に付けることが、ヒグマとの事故を未然に防ぐことにつながります。

共存という理想を実現するために…。

協力：ヒグマについて



北海道大学 獣医学研究科 敏男教授  
つばた としお

協力：市の状況について



市環境局みどりの推進課 熊対策調整担当係  
まだ よしゆき  
木田 慶之さん

リーフレットは  
区役所で配布中

